

2 0 2 5 年 度

広 島 県 福 山 市 丸 之 内 一 丁 目 地 内

広域避難場所福山城公園マンホールトイレ実施設計業務委託（ 7－2 ）設計書

業 務 概 要	当 初	変 更
	実 施 設 計	
	開削工法(内径1,200mm未満) 延長 111 m	
	マンホールトイレシステム 1 箇所	
	地質調査(機械ボーリング φ66mm) 1 箇所	

下水道管路施設実施設計業務委託標準仕様書

福山市上下水道局 工務部 管路整備課

第1章 総則

1.1 業務の目的

本委託業務（以下、「業務」という。）は、本仕様書に基づいて、業務委託設計図書（以下、「設計図書」という。）に示す委託対象地域の工事を実施するために必要な設計図、計算書、設計書等の作成を行うことを目的とする。

1.2 標準仕様書の適用範囲

本標準仕様書は、下水道管路施設実施設計業務に適用するものである。本標準仕様書に記載のない事項については、「福山市土木設計業務等委託契約約款（契約書を含む）」「広島県設計業務等共通仕様書（令和6年8月）」「広島県地質・土質調査業務共通仕様書（令和6年8月）」「広島県測量業務共通仕様書（令和6年8月）」、その他関係規則によるものとする。

業務は、本仕様書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める仕様に従い施行しなければならない。

1.3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

1.4 法令等の遵守

受注者は、業務の実施に当たり、関連する法令等を遵守しなければならない。

1.5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

1.6 秘密の保持

受注者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

1.7 公益確保の責務

受注者は、業務を行うに当たっては公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することの無いように努めなければならない。

1.8 許可申請

受注者は、工事に必要な許可申請（占用許可等）に関する事務に必要な図面作成を遅滞なく行わなければならない。

1.9 提出書類

受注者は、業務の着手及び完了に当たって、発注者の契約約款に定めるものの外、次の書類等を提出しなければならない。

- （イ）業務工程表 （ロ）管理技術者及び照査技術者選任通知書
- （ハ）各技術者の経歴書 （ニ）委託（下請負）承諾願 （ホ）業務委託完了通知書
- （ヘ）納品書 （ト）業務委託料請求書

なお、承認された事項を変更しようとするときは、その都度承認を受けるものとする。

1.10 管理技術者及び技術者

- （1） 受注者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。
- （2） 管理技術者は、下水道法施行令（昭和34年政令第147号）第15条に定める資格を有する者とし、業務の全般にわたり技術的管理を行わなければならない。なお、主要な設計協議ならびに現地調査に出席しなければならない。
- （3） 受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

1.11 工程管理

受注者は、工程に変更を生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

1.12 成果品の審査及び納品

- (1) 受注者は、成果品完成後に発注者の審査を受けなければならない。
- (2) 成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。
- (3) 業務の審査に合格後、成果品一式を納品し、発注者の検査員の検査をもって、業務の完了とする。
- (4) 業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務のかしが発見された場合、受注者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

1.13 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等と協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り、この内容を遅滞なく報告しなければならない。

1.14 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

1.15 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、発注者、受注者協議の上、これを定める。

第2章 調 査

(管路施設)

2.1 資料の収集

業務上必要な資料、地下埋設物およびその他の支障物件（電柱、架空線）については、関係官公署、企業者等において将来計画を含め十分調査しなければならない。

(1) 管渠資料

下水道台帳、竣工図書、設計図書及び老朽度調査記録表に基づき、管渠諸元の整理及び構造諸元・埋設環境の整理をしなければならない。

(2) 地盤資料

土質調査資料、広域地質図に基づき、地盤諸元を整理しなければならない。

2.2 現地踏査

設計図書に示された設計対象区域について踏査し、地勢、土地利用、排水区界、道路状況、水路状況等現地を十分に把握しなければならない。

2.3 地下埋設物調査

設計図書に示された設計対象区域について、水道、下水道、ガス、電気、電話等地下埋設物の種類、位置、形状、深さ、構造等をそれらの管理者が有する資料と照合し、確認しなければならない。

2.4 公私道調査

道路、水路等について公図並びに土地台帳により調査確認しなければならない。

2.5 在来管調査

在来管調査は、2.3地下埋設物調査で行う範囲を超える調査であり、管路、マンホール及びますの老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、底高等現地作業を伴うものをいう。当該調査は別途計上とする。

2.6 既設管調査

管路内調査は、TVカメラ調査又は潜行目視調査、劣化度調査図書に基づき管内にて管渠の劣化状況や堆積物等の有無を把握する調査であり、管渠の老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、支障物件の状況等現地調査を伴うものをいう。TVカメラ調査又は潜行目視調査、劣化度調査は別途計上とする。

また、測量調査によって既設管渠及びマンホールの諸元を確認しなければならない。

2.7 現場環境調査

道路状況、周辺状況を現地にて把握し、工事の実施における制約条件を確認しなければならない。

(マンホールトイレシステム)

2.8 資料の収集

上位計画の資料、避難所施設内の地下配管と建物に関する図面、校舎等の改築工事・耐震化計画、地盤、水

源・動力に関する情報、その他マンホールトイレシステムの検討に必要な資料を含め十分に調査しなければならない。

2.9 現地踏査

特記仕様書に示された対象施設について敷地の土地利用状況、施設内の既設管、周辺道路の状況、支障物件、その他の施工制約条件等、トイレ用水などの水源調査等を十分に調査しなければならない。

2.10 現場作業

マンホールトイレとマンホール位置、接続先公共下水管の位置選定および距離、高さの測定を行わなければならない。

第3章 設計一般

3.1 打合せ

- (1) 業務の実施に当って、受注者は発注者と密接な連絡を取り、その連絡事項をそのつど記録し、打合せの際、打合せ記録簿を提出し相互に確認しなければならない。
- (2) 設計業務着手時及び設計業務の主要な区切りにおいて、受注者と発注者は打合せを行うものとし、その結果を記録し、速やかに打合せ記録簿を提出し相互に確認しなければならない。

3.2 設計基準等

設計に当っては、発注者の指示する図書及び本仕様書第8章参考図書に基づき、設計を行う上でその基準となる事項について発注者と協議の上、定めるものとする。

3.3 設計上の疑義

設計上疑義の生じた場合は、発注者との協議の上、これらの解決にあたらなければならない。

3.4 設計の資料

設計の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

3.5 事業計画図書の確認

受注者は、第2章調査の各項の調査等と併せて、設計対象区域にかかる事業計画図書の確認をしなければならない。

3.6 参考資料の貸与

発注者は、業務に必要な下水道事業計画図書、下水道総合地震対策計画、下水道BCP、測量、土質調査資料、既設管資料、在来管資料、道路台帳、地下埋設物調査、下水道構造標準図等の資料を所定の手続によって貸与する。

3.7 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

第4章 設計細則（基本設計）

4.1 設計図の作成

主要な設計図は、次により作成することとし、図面完成時には、発注者の承認を受けなければならない。

(1) 位置図

位置図（ $S=1/10,000 \sim 1/30,000$ ）は地形図に設計区域又は設計区間を記入する。

(2) 区画割施設平面図

区画割施設平面図（ $S=1/2,500$ ）は、事業計画において作成した区画割図面に基づいて枝線の区画割を行い、設計区域又は設計区間の区間番号、形状、管径、勾配、区間距離、区画の面積及び幹線・排水区又は処理区等の名称を記入すること。

(3) 縦断面図

縦断面図（ $S=$ 縦 $1/100$ 、横 $1/2,500$ ）は、区画割施設平面図と同一記号を用いて次の事項を記入すること。

管渠の位置、平面図との対照番号、形状、管径、勾配、区間距離、地盤高、管底高、土被り及び河川、鉄道、国道等の位置と名称、流入及び交差する管渠の位置、番号、形状、管径、管底高並びに流出先の施設の名称、主要な地下埋設物の名称、位置・形状、寸法等及び河川の現在と計画の底高、高水位並びに幹線、処理区等の名称を記入すること。

(4) 流量計算表

流量計算表は、事業計画において作成された流量表に基づいて、管渠の断面、勾配を決定し、起終点の管底高、地盤高、土被り、流入管記号を記入すること。

(5) 概略構造図

概略構造図（ $S=1/10\sim 1/100$ ）は、次の要領で作成する。

発注者の下水道構造標準図によるものは作成を要しないが、次のような特殊構造のものは、縦断面図と同一記号を用いて図面を作成する。

特殊なマンホール、接続室、雨水吐室及び吐口、伏越等特に構造図を必要とするものについて概略の形状図を作成する。

4.2 概略工法検討

概略工法検討業務は、設計対象路線の管路布設工法（開削、推進、シールド）の選定を行うものである。ただし、個所別詳細な工法の検討は詳細設計で行うものとする。

4.3 報告書

報告書は、当該設計に係るとりまとめの概要書を作成するものとし、その内容は、位置、設計の目的、調査・計画の概要、設計計画、概略工法検討等を集成するものとする。

第5章 設計細則（新設・改築及びマンホールトイレシステム・詳細設計）

5.1 設計図の作成

主要な設計図は、次により作成することとし、図面完成時には発注者の承認を受けなければならない。

(1) 位置図

位置図（ $S=1/10,000\sim 1/30,000$ ）は地形図に施工箇所を記入する。

(2) 系統図

系統図（ $S=1/2,500$ ）は、地形図に設計区間を記入する。

(3) 平面図

平面図（ $S=1/250\sim 1/500$ ）は、測量による平面図及び道路台帳に基づいて、設計区間の占用位置、マンホール及びマンホールトイレシステムの位置・管渠の区間番号、形状、管径、勾配、区間距離、宅盤の高さ及び管渠の名称等を記入する。

(4) 詳細平面図

詳細平面図（ $S=1/50\sim 1/100$ ）は主要な地下埋設物さくそう箇所、重要構造物近接箇所及び河川、鉄道、国道等横断箇所等特に詳細図を必要とし、発注者が指示する場合に平面図及び横断面図を作成する。

(5) 縦断面図

縦断面図（ $S=$ 縦 $1/100$ 、横 $1/500$ ）は、平面図と同一記号を用いて次の事項を記入する。

管渠の位置、平面図との対照番号、形状、管径、勾配、区間距離、地盤高、管底高、土被り、マンホールの種別、ふたの荷重区分及び河川、鉄道、国道等の位置と名称、流入及び交差する管渠の位置、番号、形状、管径、管底高、主要な地下埋設物の名称、位置、形状、寸法等及び管渠の名称等を記入する。

(6) 横断面図

横断面図（ $S=1/50\sim 1/100$ ）は、平面図と同一記号を用いて次の事項を記入する。

管渠の位置、平面図との対照番号、形状、管径、地盤高、管底高及び必要な地下埋設物の名称、位置、形状、寸法等及び管渠の名称又は横断位置の名称等を記入する。

(7) 構造図

構造図（ $S=1/10\sim 1/100$ ）は、次の要領で記入する。

福山市上下水道局の下水道構造標準図によるものは作成を要しないが、次のような特殊構造のものは縦断面図と同一記号を用いて構造図を作成する。

特殊な布設構造図、接続室、雨水吐室及び吐口、伏越、特殊な形状のマンホール及びます、マンホールトイレシステムのトイレ設置口から下水道本管または貯留施設に接続まで一連の構造図を必要とし、仕様書に明記されているもの。

(8) 仮設図

仮設図（ $S=1/10\sim 1/100$ ）は、次の要領で記入する。

仮設図は、構造図と同一記号を用いて作成する。

設計図には、掘削幅、長さ、深さ、地盤高、床掘高及び使用する材料の位置、名称、形状、寸法、他の地下埋設物防護工並びに補助工法の範囲、名称等を記入する。

5.2 各種計算

管渠、管基礎、推進力及び構造計算、仮設計算、補助工法、耐震設計等の計算に当っては、発注者と十分打合せの上、計算方針を確認して行わなければならない。

5.3 数量計算

土工、管、管基礎、覆工等及び構造物、仮設、補助工法、事前事後処理等材料別に数量を算出する。

5.4 報告書

報告書は、当該設計に係るとりまとめの概要書を作成するものとし、その内容は、設計の目的・概要・位置、設計項目、設計条件、土質条件、埋設物状況、施工方法、工程表等を集成するものとする。

第6章 照査

6.1 照査の目的

受注者は業務を施行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないよう努めなければならない。

6.2 照査の体制

受注者は遺漏なき照査を実施するため、下水道法施行令（昭和34年政令第147号）第15条に定める資格を有する者を配置しなければならない。

6.3 照査事項

受注者は設計全般にわたり、次に示す事項について照査を実施しなければならない。

- (1) 基本条件の確認内容について
- (2) 比較検討の方法及びその内容について
- (3) 設計計画（設計方針及び設計手法）の妥当性について
- (4) 計算書（構造計算書、容量計算書、数量計算書、耐震設計計算書等をいう。）について
- (5) 計算書と設計図の整合性について

第7章 提出図書

7.1 提出図書

提出図書は次項により、提出しなければならない。

7.2 実施設計関係提出図書（詳細設計）

図 書 名	縮 尺	形状寸法
(1) 位 置 図	1/10,000～1/30,000	原図・白焼き
(2) 系 統 図	1/2,500	〃
(3) 平 面 図	1/500	〃
(4) 詳 細 平 面 図	1/50～1/100	〃
(5) 縦 断 面 図	縦1/100、横1/500	〃
(6) 横 断 面 図	1/50～1/100	〃
(7) 構 造 図	1/10～1/100	〃
(8) 仮 設 図	1/10～1/100	〃
(9) 水 理 計 算 書		A 4
(10) 構 造 計 算 書（耐震設計計算書を含む）		A 4 又は A 3
(11) 数 量 計 算 書		A 4
(12) 報 告 書		〃
(13) 打 合 せ 議 事 録		〃

(14) その他の資料

原 稿

設計に伴って収集・調査した資料及びその他申請等に関する資料

7.3 提出部数

3部とし、そのうち2部は電子成果品とする。ただし、電子納品対象外のものについては、別途協議によるものとする。

7.4 電子成果品

- (1) ファイル形式についてはPDF形式を基本とし、印刷を前提とした解像度、圧縮の設定を行う。
- (2) 電子化が難しい成果品の取扱いについては、事前に発注者と対象書類を協議すること。

なお、電子化が難しい成果品としては、次の資料を見込んでいる。

- ・特殊なアプリケーションを利用したデータファイル（解析結果(大量データ)）
- ・A3よりも大きな図面等（紙でしか入手、作成が出来ないもの）

第8章 参考図書

8.1 参考図書

業務は、次に掲げる最新版図書を参考にして行うものとする。これら以外の図書を参考にする場合は、あらかじめ発注者の承諾を受けなければならない。

- (1) 福山市下水道構造標準図
- (2) 下水道施設計画・設計指針と解説（日本下水道協会）
- (3) 下水道維持管理指針（ " ）
- (4) 小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説（ " ）
- (5) 下水道管路施設設計の手引き（ " ）
- (6) 下水道施設の耐震対策マニュアル（ " ）
- (7) 下水道施設の耐震対策指針と解説（ " ）
- (8) 下水道施設耐震計算例—管路施設編（ " ）
- (9) 下水道推進工法の指針と解説（ " ）
- (10) 下水道マンホール安全対策の手引き（案）（ " ）
- (11) 管きょ更生工法の耐震設計の考え方（案）と計算例（ " ）
- (12) 管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン（案）（ " ）
- (13) マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン（国土交通省水管理・国土保全局下水道部）
- (14) 下水道BCP策定マニュアル（地震・津波、水害編）（ " ）
- (15) 水理公式集（土木学会）
- (16) コンクリート標準示方書（ " ）
- (17) 土木工学ハンドブック（ " ）
- (18) トンネル標準示方書（シールド工法編）・同解説（ " ）
- (19) " （山岳工法編）・"（ " ）
- (20) " （開削工法編）・"（ " ）
- (21) 地盤工学ハンドブック（地盤工学会）
- (22) 道路技術基準通達集（国土交通省）
- (23) 道路構造令の解説と運用（日本道路協会）
- (24) 道路土工—仮設構造物工指針（ " ）
- (25) 道路土工—擁壁工指針（ " ）
- (26) 道路土工—カルバート工指針（ " ）
- (27) 共同溝設計指針（ " ）
- (28) 道路橋示方書・同解説（ " ）
- (29) 水門鉄管技術基準（水門鉄管協会）
- (30) 改訂新版建設省河川砂防技術基準（案）同解説（日本河川協会）
- (31) 港湾の施設の技術上の基準・同解説（日本港湾協会）

広域避難場所福山城公園マンホールトイレ実施設計業務委託（７－２）

特記仕様書

福山市上下水道局 工務部 管路整備課

1. 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は「下水道管路施設実施設計業務委託標準仕様書」の第１章1.1及び1.2に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は、前記標準仕様書による。

2. 設計条件項目

設 計 条 件 項 目 表

項 目	設 計 条 件
管径・工法及び延長	開削工法（開削内径1200mm未満）φ 1 5 0 ～ 6 0 0 mm 管路延長 1 1 1 m
特 殊 構 造 物 （ ☒ 有 ☐ 無 ）	耐 震 設 計 （ ☒ 有 ☐ 無 ） マンホールトイレシステム 施設数 1 箇所 その他（ ）
報 告 書 作 成	☒ 有 ☐ 無
設 計 協 議	中間打合せ 2 回
施工法等の比較検討 （ 有 ☒ 無 ）	a) 管路の掘削工法 b) ①急曲線②土被り1.5D以下③近接構造物（ 箇所）④軌道横断（ 箇所） ⑤河川横断（ 箇所） ⑥高架道横断（ 箇所）
耐 震 計 算 （ 応 答 変 位 法 ）	☒ 有（管路施設・特殊構造物）， 無
耐 震 設 計	レベル1地震動， ☒ レベル1及びレベル2地震動， 無
設 計 条 件 補 正	有（ ）， ☒ 無
地 盤 条 件 補 正	有（ ）， ☒ 無
計 画 工 区 数	1 工 区
そ の 他 補 正	有（ ）， ☒ 無
電 子 納 品	有（ 3. 電子納品 参照 ）， ☒ 無

3. 井戸調査

マンホールトイレの洗浄水用井戸設置のための調査を行うものとし、本業務は下記の調査及び報告書作成を含む。

- ・地下水水源調査（深度20m）×1か所
- ・水量・水質等を総合的に調査・検討して適する帯水層を水源とする。
- ・揚水試験（1回）水源の深さを20m以下と仮定する。
- ・水質試験（管路整備課より試験可能なところへ依頼する。）
- ・水源調査結果のまとめ及び井戸としての評価をする。

4. 電子納品

（１）電子納品

電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「福山市電子納品要領[土木業務委託編]平成29年4月(以下、「要領」という。)」に基づいて作成されたものを指す。

(2) 事前協議及び検査事前協議

業務の着手前及び納品検査前に十分な協議を行い、双方の合意を図るものとする。

(3) 電子納品データのチェック

電子納品にあたっては、フォルダの構成、管理項目、ファイル名等の要領との整合性をチェックプログラム（国土交通省の電子納品チェックシステム等）により確認し、エラーが無いことを確認すること。

(4) 成果品の提出

委託成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で2部（正1部、副1部）検査用として簡易製本版を1部提出する。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として、電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は発注者と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、「紙」による報告書の提出は発注者と協議上、決定する。

また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

(5) 成果品の納入に係る費用

成果品の納入に係る費用については、従来どおりの費用の取扱いに含むものとする。

(6) 機械ボーリングのデータ登録

機械ボーリング調査を行った受注者は、「広島県地質・土質調査業務共通仕様書（令和6年8月）」第118条成果物の提出に基づき、地盤情報を「一般財団法人国土地盤情報センター」の検定を受けた上で、「国土地盤情報データベース」に登録しなければならない。受注者は、地盤情報の公開・利用の可否について、電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】（国土交通省・平成30年3月）に基づき、事前協議における発注者の指示に従って成果品データに「公開可否コード」を記入した上で、検定の申込を行うこととする。なお、検定に要する費用は、直接経費に「国土地盤情報データベース検定費」として計上し、諸経费率算定の対象額としない。ただし、管理技術者が国土地盤情報センターで定める技術士の資格又は、ボーリング責任者が地質調査技士の資格を持っていなければ設計変更の対象とする。

また、受注者は、電子納品の際に、一般財団法人国土地盤情報センターから受領した検定証明書（PDFファイル）を、電子納品運用ガイドライン【地質・土質調査編】（国土交通省・平成30年3月）に規定されている格納フォルダBORING/OTHRに格納することをもって、提出する成果が検定済であることを報告することとする。

5. その他

(1) 最終精算変更時点においては、実際に履行したことがわかる全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等）及び実績報告書（様式2）を監督員に提出する。

(2) 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。

(3) 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行なうこと。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.04.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	2 委託		
	当世代	前世代	
発注区分	41 建設コンサル		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
地質調査業務費					X2000
一般調査					Y2B01 レベル1
直接調査費	1	式			Y2B0101 レベル2
機械ボーリング(市場単価)	1	式			Y2B010101 レベル3
土質ボーリング(ノンコア)	1	式			Y2B01010101 レベル4
		m			
土質ボーリング(ノンコアボーリング) 孔径 φ 6 6 mm 粘性土・シルト	5	m			SSE001 00 単第0 -0001 表
土質ボーリング(ノンコアボーリング) 孔径 φ 6 6 mm 砂・砂質土	5	m			SSE001 00 単第0 -0002 表
土質ボーリング(ノンコアボーリング) 孔径 φ 6 6 mm 礫混じり土砂	10	m			SSE001 00 単第0 -0003 表
サウンディング及び原位置試験	1	式			Y2B010103 レベル3

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標準貫入試験					Y2B01010301レベル4
		回			
標準貫入試験 粘性土・シルト					SSE007 00
	5	回			単第0 -0004 表
標準貫入試験 砂・砂質土					SSE007 00
	5	回			単第0 -0005 表
標準貫入試験 礫混じり土砂					SSE007 00
	10	回			単第0 -0006 表
現場透水試験					Y2B01010303レベル4
		回			
現場透水試験 一重管法 G L - 2 0 m以内					SSE011 00
	2	回			単第0 -0007 表
室内土質試験					Y2B010110 レベル3
	1	式			
土粒子の密度試験					Y2B01011001レベル4
		試料			
室内土質試験 土粒子の密度試験 1試料3個					TH003342 00
	2	試料			

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土の粒度試験		試料			Y2B01011003レベル4
室内土質試験 土の粒度試験(1),沈降分析(ふるい分析含)	2	試料			TH003346 00
解析等調査	1	式			Y2B010114 レベル3
解析等調査					Y2B01011401レベル4
資料整理とりまとめ(直接人件費)直接調査費 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本	1	業務			SSE052 00 単第0 -0008 表
断面図等の作成(直接人件費)直接調査費 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本	1	業務			SSE054 00 単第0 -0009 表
直接経費	1	式			Y2B010117 レベル3
電子成果品作成費		式			Y2B01011701レベル4
電子成果品作成費(調査)	1	式			S2B01011503 00 単第0 -0010 表

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
国土地盤情報データベース検定費					Y2B01011704レベル4
		式			
国土地盤情報データベース検定費 地質調査技師 地質調査技師	1	式			S2B01011501 00 単第0 -0011 表
* * 直接調査費 * *					
間接調査費					Z0001
準備費	1	式			YZZ0102 レベル2
準備費	1	式			YZZ010201 レベル3
準備費	1	式			YZZ01020101レベル4
準備及び跡片付け	1	業務			SSE039 00 単第0 -0012 表
調査孔閉塞	1	箇所			SSE045 00 単第0 -0013 表

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設費					YZZ0103 レベル2
	1	式			
仮設費					YZZ010301 レベル3
	1	式			
足場設備					YZZ01030101 レベル4
平坦足場 板材足場(高さ0.3m以下) Br深度50m以下					SSE031 00
	1	箇所			単第0 -0014 表
安全費					YZZ0104 レベル2
	1	式			
安全費					YZZ010401 レベル3
	1	式			
安全費					YZZ01040101 レベル4
安全費(調査) その他					S2Z0104X2 00
	1	式			単第0 -0015 表
旅費交通費					YZZ0106 レベル2
	1	式			

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
旅費交通費					YZZ010601 レベル3
	1	式			
旅費交通費					YZZ01060101レベル4
旅費交通費（調査）					S2Z0106X2 00
	1	式			単第0 -0016 表
施工管理費					YZZ0107 レベル2
	1	式			
施工管理費					YZZ010701 レベル3
	1	式			
施工管理費					YZZ01070101レベル4
施工管理費（調査）					S2Z0107X2 00
	1	式			単第0 -0017 表
* * 純調査費 * *					
諸経費					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					

地質調査業務費 内訳表

頁0 -0008

[illegible]

設計業務費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設計業務費					X3000
設計業務等標準歩掛					Y2C02 レベル1
共通	1	式			Y2C0201 レベル2
打合せ等	1	式			Y2C020101 レベル3
打合せ等	1	式			Y2C02010101 レベル4
設計協議（詳細設計）		式			V1000 00
管路施設実施設計	1	式			単第0 -0018 表 Y2C0202 レベル2
管路施設実施設計（新設・詳細設計）	1	式			Y2C020202 レベル3
開削工法（内径1,200mm未満）	1	式			Y2C02020201 レベル4
	1	式			

設計業務費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
資料収集 開削工法（内径1,200mm未満）	1	式			V2001 00 単第0 -0022 表
現地踏査 開削工法（内径1,200mm未満）	1	式			V2003 00 単第0 -0023 表
現地作業 開削工法（内径1,200mm未満）	1	式			V2004 00 単第0 -0024 表
設計計画 開削工法（内径1,200mm未満）	1	式			V2005 00 単第0 -0025 表
設計図作成 開削工法（内径1,200mm未満）	1	式			V2007 00 単第0 -0026 表
照査 開削工法（内径1,200mm未満）	1	式			V2009 00 単第0 -0027 表
マンホールトイレシステム		式			Y2C02020202レベル4
資料収集 マンホールトイレシステム	1	式			V3001 00 単第0 -0028 表
現地踏査 マンホールトイレシステム	1	式			V3003 00 単第0 -0029 表

設計業務費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現地作業 マンホールトイレシステム	1	式			V3004 00 単第0 -0030 表
設計計画 マンホールトイレシステム	1	式			V3005 00 単第0 -0031 表
各種計算 マンホールトイレシステム	1	式			V3006 00 単第0 -0032 表
設計図作成 マンホールトイレシステム	1	式			V3007 00 単第0 -0033 表
数量計算 マンホールトイレシステム	1	式			V3008 00 単第0 -0034 表
照査 マンホールトイレシステム	1	式			V3009 00 単第0 -0035 表
管路施設耐震設計		式			Y2C02030103レベル4
調査 管路施設耐震設計（レベル1及びレベル2）	1	式			V6001 00 単第0 -0036 表
条件設定 管路施設耐震設計（レベル1及びレベル2）	1	式			V6002 00 単第0 -0037 表

設計業務費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震計算 管路施設耐震設計（レベル1及びレベル2）	1	式			V6003 00 単第0 -0038 表
照査 管路施設耐震設計（レベル1及びレベル2）	1	式			V6004 00 単第0 -0039 表
マンホールトイレシステム耐震設計		式			Y2C02030201レベル4
調査 マンホールトイレシステム耐震設計（レベル1及びレベル2）	1	式			V6005 00 単第0 -0040 表
条件設定 マンホールトイレシステム耐震設計（レベル1及びレベル2）	1	式			V6006 00 単第0 -0041 表
耐震計算 マンホールトイレシステム耐震設計（レベル1及びレベル2）	1	式			V6007 00 単第0 -0042 表
報告書作成	1	式			Y2C02030202レベル4
報告書作成（詳細設計）	1	式			V1004 00 単第0 -0043 表
* * 直接人件費 * *					

設計業務費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
直接経費					Z0001
旅費交通費					YZZ0101 レベル2
	1	式			
旅費交通費					YZZ010101 レベル3
	1	式			
旅費交通費					YZZ01010101 レベル4
		式			
旅費交通費（設計）					S2Z0101X3 00
	1	式			単第0 -0044 表
電子成果品作成費					YZZ0102 レベル2
	1	式			
電子成果品作成費					YZZ010201 レベル3
	1	式			
電子成果品作成費					YZZ01020101 レベル4
		式			
電子成果品作成費(設計) 概略設計，予備設計及び詳細設計					S2Z0102X3 00
	1	式			単第0 -0045 表

設計業務費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
電子計算機使用料及び機械器具損料					YZZ0103 レベル2
	1	式			
電子計算機使用料及び機械器具損料					YZZ010301 レベル3
	1	式			
電子計算機使用料及び機械器具損料					YZZ01030101 レベル4
		式			
電子計算機使用料（設計）					S2Z0103X3 00
	1	式			単第0 -0046 表
* * 直接原価 * *					
その他原価					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 間接原価 * *					
* * 業務原価 * *					
一般管理費等					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					

設計業務費 内訳表

頁0 -0015

[illegible]

解析等調査業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
解析等調査業務費					X4000
解析等調査					Y2D01 レベル1
	1	式			
直接調査費					Y2D0101 レベル2
	1	式			
解析等調査					Y2D010102 レベル3
	1	式			
解析等調査(機械ボーリング)					Y2D01010201 レベル4
		式			
資料整理とりまとめ（直接人件費） 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本	1	業務			SSA052 00 単第0 -0047 表
断面図等の作成（直接人件費） 土質ボーリング1本 岩盤ボーリング0本	1	業務			SSA054 00 単第0 -0048 表
* * 直接調査費 * *					
* * 直接原価 * *					

解析等調査業務費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
その他原価 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 間接原価 * *					
* * 業務原価 * *					
一般管理費等 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 業務価格 * *					
消費税等相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 解析等調査業務費 * *					
業務価格計					
消費税相当額計 計算情報..... 対象額..... 率.....					

解析等調査業務費 内訳表

頁0 -0018

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

土質ボーリング(ノンコアボーリング)

SSE001

單第0 -0001 表

孔径 $\varnothing 6.6 \text{ mm}$

粘性土・シルト

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

土質ボーリング(ノンコアボーリング)

SSE001

單第0 -0002 表

孔径 $\varnothing 6.6 \text{ mm}$

砂・砂質土

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

土質ボーリング(ノンコアボーリング)

SSE001

單第0 -0003 表

孔径 $\varnothing 6.6 \text{ mm}$

礫混じり土砂

m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

標準貫入試験 粘性土・シルト

SSE007

單第0 -0004 表

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

標準貫入試験
砂・砂質土

SSE007

單第0 -0005 表

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

標準貫入試験

SSE007

單第0 -0006 表

回 当り

礫混じり土砂

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

現場透水試験 一重管法

SSE011
GL - 20m以内

單第0 -0007 表

1 回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

資料整理とりまとめ(直接人件費)直接調査費
土質ボーリング1本 岩盤

SSE052

岩盤ボーリング0本

單第0 -0008 表

業務 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

断面図等の作成（直接人件費）直接調査費
土質ボーリング1本 岩

SSE054

岩盤ボーリング0本

單第0 -0009 表

業務 当り

[illegible]

施工単価表

電子成果品作成費(調査)

S2B01011503

單第0 -0010 表

頁0 -0028

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

国土地盤情報データベース検定費

S2B01011501

單第0 -0011 表

地質調查技師

地質調查技師

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

準備及び跡片付け

SSE039

單第0 -0012 表

業務 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

調査孔閉塞

SSE045

單第0 -0013 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

平坦足場

SSE031

單第0 -0014 表

板材足場(高さ0.3m以下)

Br深度50m以下

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

安全費（調査）
その他

S2Z0104X2

單第0 -0015 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

旅費交通費（調査）

S2Z0106X2

單第0 -0016 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

施工管理費(調査)

S2Z0107X2

單第0 -0017 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

設計協議（詳細設計）

V1000

單第0 -0018 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

第1回打合せ

V1001

單第0 -0019 表

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

中間打合せ

V1002

單第0 -0020 表

1 回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

最終打合せ

V1003

單第0 -0021 表

回 当り

[illegible]

施工単価表

資料収集
開削工法（内径1,200mm未満）

V2001

単第0 -0022 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師長	0.5	人			
主任技師	0.5	人			
技師（A）	0.5	人			
技師（B）	1.5	人			
技師（C）	0.5	人			
技師（D）（技術員）	0.5	人			
管路延長補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.331 管路延長補正 C=0 地盤条件補正 E=0 その他の補正			B=0 設計条件補正 D=0 工区数補正		

施工単価表

現地踏査
開削工法（内径1,200mm未満）

V2003

単第0 -0023 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師長 (外業)	0.5	人			
主任技師 (外業)	0.5	人			
技師 (A) (外業)	0.5	人			
技師 (B) (外業)	2.0	人			
技師 (C) (外業)	2.0	人			
技師 (D) (技術員) (外業)	1.0	人			
管路延長補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.331 管路延長補正 C=0 地盤条件補正 E=0 その他の補正			B=0 設計条件補正 D=0 工区数補正		

施工単価表

現地作業
開削工法（内径1,200mm未満）

V2004

単第0 -0024 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 (外業)	1.0	人			
技師 (A) (外業)	3.0	人			
技師 (B) (外業)	4.0	人			
技師 (C) (外業)	3.5	人			
技師 (D) (技術員) (外業)	5.0	人			
管路延長補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.331 管路延長補正 C=0 地盤条件補正 E=0 その他の補正			B=0 設計条件補正 D=0 工区数補正		

施工単価表

頁0 -0043

設計計画
開削工法（内径1,200mm未満）

V2005

単第0 -0025 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師長	0.5	人			
主任技師	1.5	人			
技師（A）	3.0	人			
技師（B）	4.5	人			
技師（C）	4.0	人			
管路延長補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.331 管路延長補正 C=0 地盤条件補正 E=0 その他の補正			B=0 設計条件補正 D=0 工区数補正		

施工単価表

頁0 -0044

設計図作成
開削工法（内径1,200mm未満）

V2007

単第0 -0026 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師	1.5	人			
技師（A）	2.5	人			
技師（B）	5.0	人			
技師（C）	5.0	人			
技師（D）（技術員）	4.5	人			
管路延長補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.331 管路延長補正 C=0 地盤条件補正 E=0 その他の補正			B=0 設計条件補正 D=0 工区数補正		

施工単価表

頁0 -0045

照査

V2009

單第0 -0027 表

式 当り

開削工法（内径1,200mm未満）

[illegible]

施工単価表

資料収集
マンホールトイレシステム

V3001

単第0 -0028 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師	0.5	人			
技師 (A)	0.5	人			
技師 (B)	0.5	人			
技師 (C)	0.5	人			
技師 (D) (技術員)	0.5	人			
施設数補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.5 施設数補正					

施工単価表

現地踏査
マンホールトイレシステム

V3003

単第0 -0029 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 (外業)	0.5	人			
技師 (A) (外業)	0.5	人			
技師 (B) (外業)	0.5	人			
技師 (C) (外業)	0.5	人			
技師 (D) (技術員) (外業)	0.5	人			
施設数補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.5 施設数補正					

施工単価表

頁0 -0048

現地作業
マンホールトイレシステム

V3004

単第0 -0030 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師 (外業)	0.5	人			
技師 (A) (外業)	0.5	人			
技師 (B) (外業)	1.0	人			
技師 (C) (外業)	1.5	人			
技師 (D) (技術員) (外業)	1.5	人			
施設数補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.5 施設数補正					

施工単価表

設計計画
マンホールトイレシステム

V3005

単第0 -0031 表

頁0 -0049

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師長	0.5	人			
主任技師	0.5	人			
技師 (A)	1.0	人			
技師 (B)	1.5	人			
技師 (C)	1.5	人			
施設数補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.5 施設数補正					

施工単価表

各種計算
マンホールトイレシステム

V3006

単第0 -0032 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師	0.5	人			
技師 (A)	1.0	人			
技師 (B)	1.0	人			
技師 (C)	1.5	人			
技師 (D) (技術員)	1.0	人			
施設数補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.5 施設数補正					

施工単価表

頁0 -0051

設計図作成
マンホールトイレシステム

V3007

単第0 -0033 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師	0.5	人			
技師 (A)	1.0	人			
技師 (B)	2.0	人			
技師 (C)	2.0	人			
技師 (D) (技術員)	2.0	人			
施設数補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.5 施設数補正					

施工単価表

頁0 -0052

数量計算
マンホールトイレシステム

V3008

単第0 -0034 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師	0.5	人			
技師 (A)	1.0	人			
技師 (B)	1.5	人			
技師 (C)	1.5	人			
技師 (D) (技術員)	1.5	人			
施設数補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.5 施設数補正					

施工単価表

頁0 -0053

照査

V3009

單第0 -0035 表

式 当り

マンホールトイレシステム

[illegible]

施工単価表

頁0 -0054

調査
管路施設耐震設計（レベル1及びレベル2）

V6001

單第0 -0036 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

条件設定
管路施設耐震設計（レベル1及びレベル2）

V6002

単第0 -0037 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
主任技師	0.5	人			
技師（A）	1.0	人			
技師（B）	0.5	人			
技師（C）	0.5	人			
延長補正					
工法補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.331 延長補正			B=1 工法補正		

施工単価表

耐震計算
管路施設耐震設計（レベル1及びレベル2）

V6003

単第0 -0038 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
技師（A）	1	人			
技師（B）	2.5	人			
技師（C）	2.0	人			
技師（D）（技術員）	1.0	人			
延長補正					
工法補正					
*** 単位当たり ***	1	式			
A=0.331 延長補正			B=1 工法補正		

施工単価表

頁0 -0057

照査

V6004

單第0 -0039 表

式 当り

管路施設耐震設計（レベル1及びレベル2）

[illegible]

施工単価表

頁0 -0058

調査

V6005

單第0 -0040 表

式 当り

マンホールトイレシステム耐震設計（レベル 1 及びレベル 2）

[illegible]

施工単価表

頁0 -0059

条件設定 V6006
マンホールトイレシステム耐震設計（レベル 1 及びレベル 2）

單第0 -0041 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0060

耐震計算 V6007
マンホールトイレシステム耐震設計（レベル 1 及びレベル 2）

單第0 -0042 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

報告書作成（詳細設計）

V1004

單第0 -0043 表

頁0 -0061

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0062

旅費交通費（設計）

S2Z0101X3

單第0 -0044 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0063

電子成果品作成費(設計)
概略設計，予備設計及び詳細設計

S2Z0102X3

單第0 -0045 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

電子計算機使用料（設計）

S2Z0103X3

單第0 -0046 表

頁0 -0064

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0065

資料整理とりまとめ（直接人件費）
土質ボーリング1本

SSA052

岩盤ボーリング0本

單第0 -0047 表

業務 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0066

断面図等の作成（直接人件費）
土質ボーリング1本

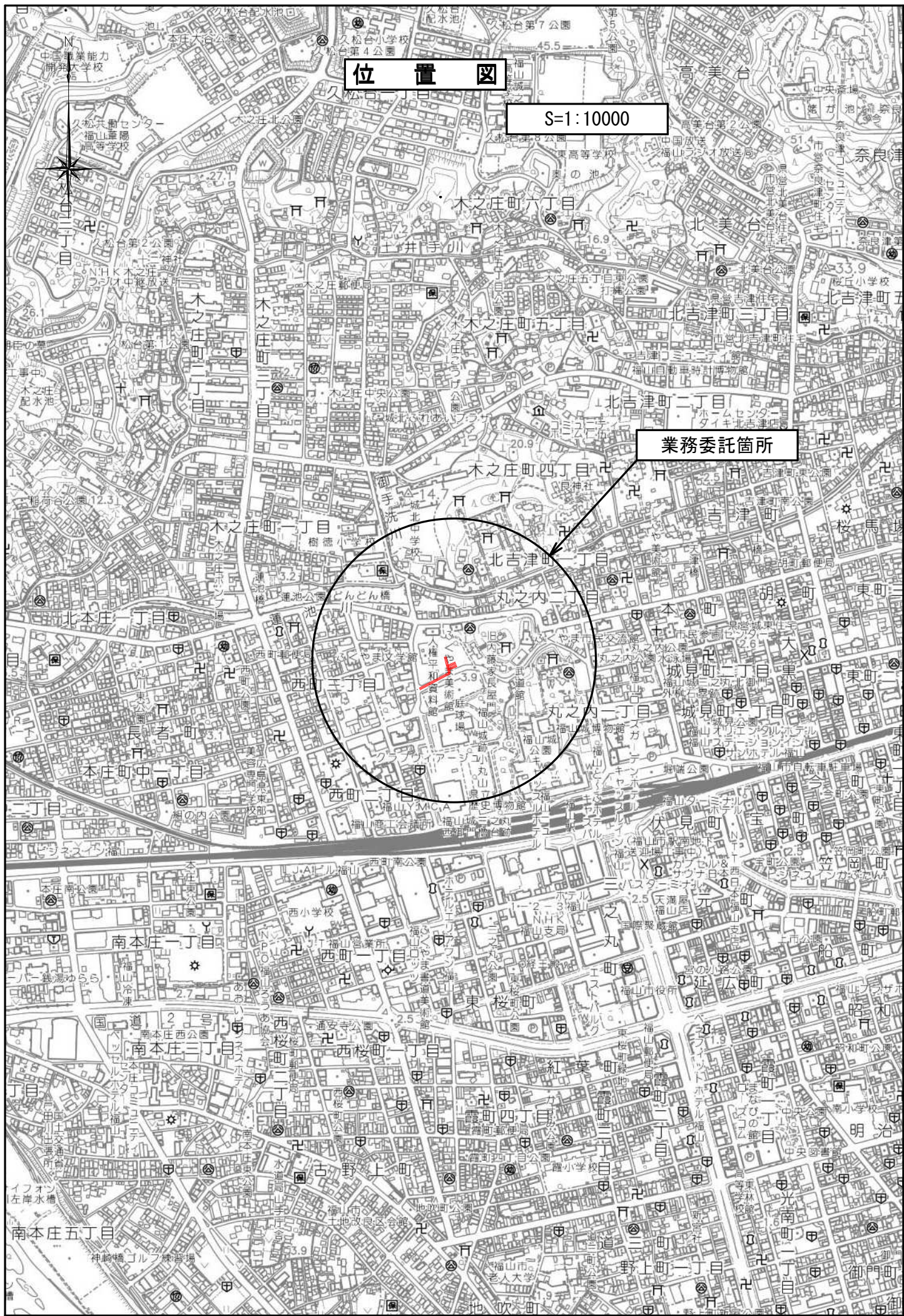
SSA054

岩盤ボーリング0本

單第0 -0048 表

業務 当り

[illegible]



位置図

S=1:10000

業務委託箇所